

拠出金名:西アフリカ諸国経済共同体拠出金

国際機関等名	西アフリカ諸国経済共同体 (英文名称・略称) Economic Community of West African States (ECOWAS)					
種 別	国連本体		国連専門機関		その他	
所轄官庁担当局課名	外務省アフリカ第一課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	(注)	
平成16年度	5,500	50		1\$=110円	(2004年)	100
平成15年度	8,540	70		1\$=122円	(2003年)	100
平成14年度	12,200	100		1\$=122円	(2002年)	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名	(千ドル)	率(%)	国際機関等の財政 (2003年事業別集計)		
1位	米	30,360	48.00	当該年度の収入 3,337,433.17ドル		
2位	EU	11,420	18.00	当該年度の支出 2,078,381.50ドル		
3位	仏	10,040	16.00	次年度への繰越 1,259,051.50ドル		
4位	英	2,980	4.60	会計検査機関名		
5位	ナイジェリア	2,803	4.40			
上記の率及び順位は2003年の平和維持活動に係るもの				(現在の構成員の出身国:)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
西アフリカ15カ国が加盟するECOWASは、リベリア、コートジボワールの紛争等に関し、域内の平和と安定の確保に向けた積極的なイニシアティブを発揮し、国際社会からも高い評価を受けている。我が国は2002年に小泉総理が発表した「我が国の対アフリカ協カイニシアティブ」において、アフリカ地域機関を通じた平和の定着支援を表明。G8プロセス、国際場裡においてもECOWAS支援の重要性が指摘されている。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
域内経済統合の推進という設立当初の趣旨のみならず、発展には地域の平和と安定が不可欠であるとして、紛争解決関連分野での活動を強化。99年に採択された「紛争予防・管理・解決・平和維持・安全保障メカニズム」に基づき、紛争予防を目的とした「監視センター」の立ち上げや、予防外交の機能を担う長老会議の設置、「平和の基金」の設立等、紛争防止のための体制の整備を推進中。また西アフリカにおけるNEPAD(アフリカ開発のための新パートナーシップ)実施機関としての機能強化にも取り組んでいる。						
邦人職員数 うち幹部以上	0人 うち 0人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		0人 0%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2002年～2004年)。